

第1回 奥日野たたら文化活用検討委員会 会議録(抜粋)

日時：平成27年6月10日（水）午後3時～午後5時

会場：日野町役場 大会議室

出席：委員12名および町長、事務局

【内容】

①あいさつ

②委員自己紹介

③座長選出

委員の互選により、鳥取県埋蔵文化財センター所長 中原斉氏を座長に選任。

④会議の進め方の確認

この委員会では、地域遺産としてのたたら文化をまちづくりに生かすための方策を取りまとめることとし、年内に提言という形で町に提出する。

⑤協議

①都合山たたら遺跡の保存・活用について

【主な意見】

- ・都合山たたら遺跡の特長は、遺構の残りが良いところ。たたら作業場が当時のまま残っている。
- ・平成20年の発掘調査の成果や、(明治31年の)俵国一先生(東京帝国大学教授)による創業時の記録もあり、いろんな条件が整っている。
- ・現地には植林してあるが、木が大きくなると、根によって遺構部分が崩れるという心配がある。
- ・近藤家の古文書が県公文書館に寄託してある。たたら顕彰を進めるためには古文書も大切である。

(公有地化した後の遺跡保存の具体策をどうするか)

- ・木の根がたたら地下構造を傷めている。抜き取れば余計に壊れるし、何らかの方法で対処できないか。
- ・本床の杉の木は倒れば地下遺構に影響がある。とりあえず伐採すれば根も枯れるので大丈夫だと思う。
どの木をどうするか、現地で確認しながら検討したい。
- ・ため池については、石垣が壊れていて、土砂も入っていて水量も減っている。
- ・毎年草刈りをするが、池が狭くなっている気がする。残すための工夫をしてほしい。
- ・たたらまでの2つのルートについて。上菅からのルートは雨が降るとぬかるんだり、川から水が上がったりしている。多少整備しないとイケない。橋もガ

ードレールではなく木などで歩きやすくしないと。

- ・畑からのルートは、大雨で20cm以上洗掘されている。これをどう埋めていくか。
- ・昨年都合谷ツアーをしたときに、高殿にロープを張って位置を分かりやすくした。将来的にそのようなものが欲しい。当面は道の整備をお願いしたい。
- ・子供も楽しめるような場所にしないといけない。
- ・上菅ルートには、操業当時の橋の橋台が残っている。そこも遺跡という意識を持って整備してもらいたい。

(遺跡案内板・ガイドブックの作製について)

- ・案内板について、遺跡までの道が分かりにくく、通り過ぎてしまったとの声も聞いている。よくわかる看板を作るべき。
- ・ガイドブックについては、学術的なものはすでにあるので、わかりやすく、子どもでもわかるようなものにしてほしい。
- ・高殿など、それぞれの作業場ごとに復元図の看板などあれば親切かも。

(文化財指定への検討について)

- ・文化財指定にも、町、県、国指定とランクがある。ランクが上がるにつれ、補助も手厚くなる。
- ・指定になればある程度規制がかかり、整備の際などには現状変更申請などが必要になってくる。指定のほかに登録制度もあるが、ランクは指定よりも下がるため、規制も少ないが補助も少ない。
- ・県または国指定を考えていけばどうか。
- ・登録有形文化財というステップもある。レベルとしては指定の方が上だが、国登録なので、国の名前が付くというメリットもある。選択肢の一つとして検討してもよいか。
- ・次回は、今日の宿題に加えて、たたら本体の整備活用について議論したいと思う。それぞれがアイデアを考えてきて欲しい。

⑥閉会